



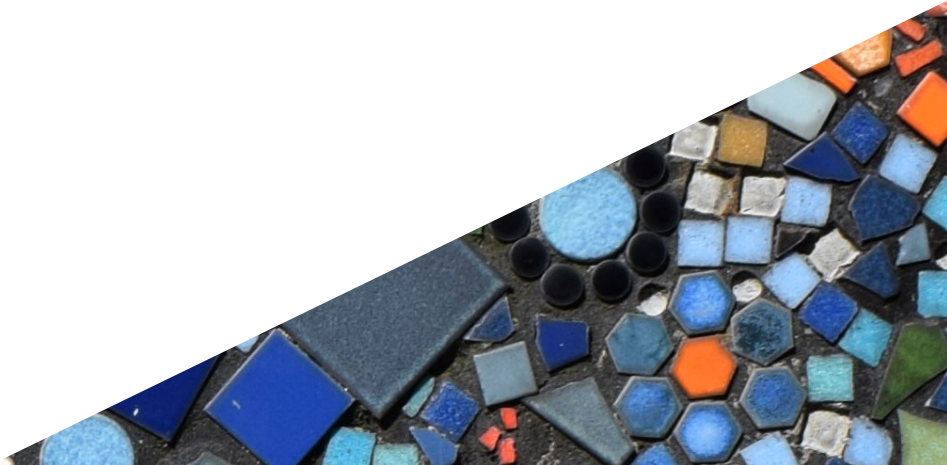
ELEVATE

設計機会

● DR. JOSE RIZAL PARK: パート1



Seattle
Parks & Recreation



Elevateとは？

Elevateは、Seattle Parks and Recreation (SPR)の取り組みであり、全ての人の機会の土俵を上げ、多様化させ、間口を広げます。ビジョンと目的に対して報奨金を授与し、新しく、活力に満ちた公園の設計を支援することにより、設計とそれによるコミュニティとのつながりを強めることを目指しています。

Seattle Parks and Recreationは、アイデアを募り、サポートし、後押しすることで、Seattle市の公共スペースの設計に対し、市民の参加を増やす必要性があると考えています。Elevateは、このニーズにこたえるSPRの取り組みです。ぜひご参加ください！ この設計機会への参加には、SPRの経験は必要ありません。黒人、先住民、有色人種 (Black, Indigenous, People of Color, BIPOC) コミュニティのメンバーには、参加を強くおすすめします。



プロセスの概要

Seattle Parks and Recreationの設計プロジェクトに関する Elevateの新しい取り組みは、主に3つで構成されています。

パート1 関心表明書 と絞り込み

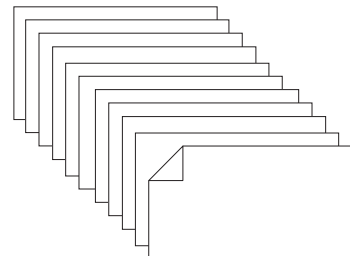
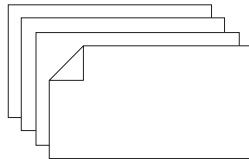
回答者は、提出要件に従った「関心表明書」を作成し、提出します。(5ページ)。経験豊富な審査員団(付録1を参照)が「関心表明書」を審査し、参加者を3~5人に絞り込みます。SPRは、パート2の資料を作成するために、各最終選考通過者に1500ドルの給付金を付与します。

パート2 設計概要説明書、聞き取り、 そして選定

最終選考通過者は、プロジェクトのビジョンに関して詳細に説明した設計概要説明書(5ページ)を作成します。審査員は良いと感じた候補者に聞き取りを行い、関心表明書、設計概要説明書および聞き取り内容に基づき、最終候補者をSeattle Parks and Recreationに推薦します。SPRは、必要に応じて、将来の提案依頼書の基礎とするため、設計パートナーと連携し、設計説明書を調整および補強することができます。

パート3 提案依頼書

設計説明書は、今後作成する提案依頼書(Request for Proposal, RFP)内に含まれるビジョン規定文書として機能するものとし、これをもって建設によりプロジェクトを完成させるために必要となる技術書、仕様、およびその他の専門サービスをパートナー企業に提供するよう求めることとなります。設計パートナーは、資格を満たしていれば、RFPに参加できます。設計パートナーは、評価が確立された既存の会社のチームメンバーとして働くこともできます。Seattle Parks and Recreationは、設計パートナーの継続的な参加を強く推奨し、この間、彼らと協働で作業してガイダンスを提供します。



注意事項

SPRは、提出物の一部または全部を承認または拒否する権利を留保します。

Dr. Jose Rizal Parkの略歴

チャイナタウン/インターナショナル地区とBeacon Hill区域との間にたたずむDr. Jose Rizal Parkは、さまざまなコミュニティに、Seattleのダウンタウンのパノラマの景色と、サービスを提供しています。4エーカーの敷地にある急勾配の丘により、上層と下層に分かれています。東側は12th Ave.、西側は金網フェンスに囲まれた、勾配の頂上にある公園の上層が、この設計機会の最も重要なポイントです。公園の上層には、屋根付きのピクニック施設、トイレ棟、階段状の円形競技場座席、子ども向け遊び場、芝生エリア、植栽があります。故フィリピンの著名彫刻家、Anastacio Caedoによるフィリピンの国民的英雄のJose Rizal博士のブロンズ胸像、フィリピン人アーティスト、Val Laigoのデザインによるモザイク壁画三部作「東は西」は、フィリピン系アメリカ人コミュニティから委託されたものです。

Seattle Parks and Recreation (SPR) が1970年代からこの土地を所有していましたが、公園は1980年代に改築され、Jose Rizal博士のために正式に献呈され、その名を公園名としました。地元のフィリピン人コミュニティは、Seattle在住のフィリピン人にとっての文化的に重要な集いの場であり続ける公園を創出するために、資金を調達しました。Elevateは、この公園が歴史的、文化的に重要な要素・機能であることを尊重し、コミュニティとSeattleの公共領域一般の重要な構成要素として、その潜在力を活用します。

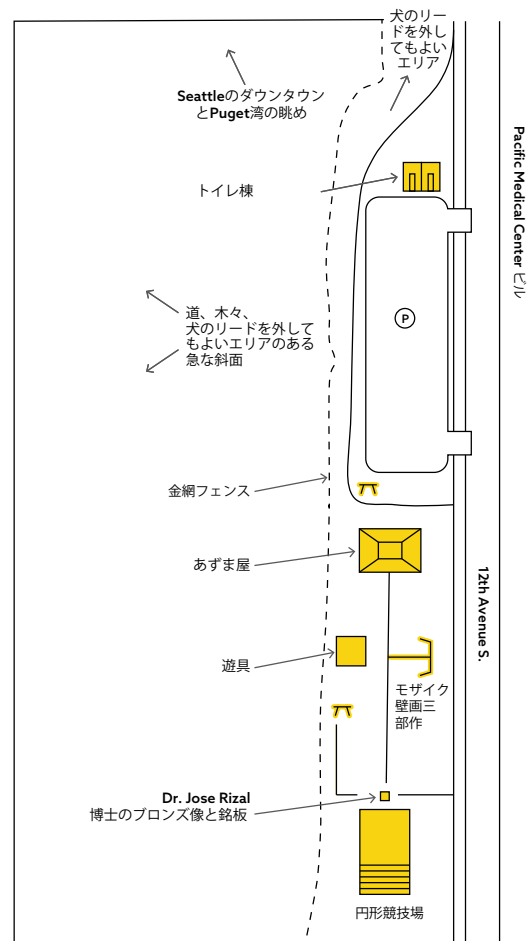


現場の状況

本文書の付録2には、2021年秋学期にワシントン大学の学生がまとめたDr. Jose Rizal Parkに関する研究論文が掲載されています。本情報リソースは、設計機会に参加するすべての参加者が、公園の歴史、背景、関係者を理解するのに役立つことを目的としています。この特別な公園の研究に時間と労力を費やしてくれたワシントン大学とその学生の皆様に感謝申し上げます。付録3には、現場の写真と公園計画があります。

公園要素のガイドライン:

- さまざまなイベントや集まりを開催するのに十分な場所があることが望ましいです。
- 既存の駐車台数は維持されます。
- モザイク壁画三部作を既存の場所に配置します。
- 遊び場、Dr. Jose Rizal 博士のブロンズ胸像、銘板は敷地内に残す必要がありますが、公園内で再配置または移動することは可能です。
- トイレ棟は移動できませんが、内装を改装、再構成することはできます。
- その他の既存の公園の機能と要素は維持可能であり、機能と要素を新しく提案することもできます。ただし、選定したアイデアの実現は、利用可能な資金の範囲内で行っていただきます。



提出要件

これは、当方があなたと、公園に対するあなたのアイデアについて深く知るための機会です。提出資料には、公園の設計に対するあなたのビジョンを含めてください。参加者は、コミュニティの文化と歴史に対応し、ビジョン達成のための戦略、斬新な設計の特徴やその取り組みを説明することが求められます。個人でも、2人以上のチームでもご参加いただけます。参加者が2人以上のチームである場合、すべてのチームメンバーを記載する必要があります。連絡先、給付金受取人として1人を選定します。

以下を期日までにご提出ください：

A) 導入：本プロジェクトに対するあなたの来歴と関心を、最大200ワードで説明してください。

B) プロジェクトの概要：プロジェクトの目的と設計ビジョンの説明を最大500ワードで説明してください。

C) 設計声明書：1ページ当たり11x17で、近隣の歴史を尊重し、コミュニティに奉仕する場所をどのようにして創出するのかを説明してください。例または提出可能な媒体は以下となります：図面、スケッチ、動画、写真、アートワークなど（これらすべての媒体が必要なわけではなく、媒体がこれらに限定されているわけでもありません）。クリエイティブな案をお待ちしています。

提出方法：

メール Elevate.RizalPark@Seattle.gov

- 件名は、「Elevate-Dr. Jose Rizal Park」としてください。
- 添付ファイルの合計が10メガファイルを超えないようにしてください。
- 連絡先情報を忘れずにご記入ください。

— または —

Jefferson Community Centre (3801 Beacon Ave. S, Seattle, WA 98108) の受付デスクに、通常の営業時間内に **お越し**いただき、対面で提出することもできます。

- 提出物は、封筒に「Elevate-Dr. Jose Rizal Park」と記載して封をする必要があります
- 連絡先情報を忘れずにご記入ください。

考慮事項：

- 上記の条件を満たさないと、審査員による考慮、審査の対象となりません。
- 精巧で高度な表現または制作物は期待されていません。
- このプロセスに参加するにあたり、あなたは提出した資料の所有権が真にあなたにあることを認め、SPRが適切な帰属を添えて、プロジェクトのウェブサイト提出物を公開することを認めるものとします。

今後の予定



*<http://seattle.gov/parks/elevate-rizalpark>

評価基準

基準は、重要度や重み付けに関する特定の序列ではないことにご注意ください。

01

参加者には以下の機会があたえられます：

- これまでのRFPでは障壁となった可能性のあるもの
そして/または
- 市の機関との連携、市の機関と上手に連携するためのプラットフォームの提供

02

コンセプトおよび/または
取り組みにおける創造性

03

以下への理解を説明してください：

- 現場の状況と風景
- 周辺コミュニティ、近隣、歴史的意義
- コミュニティの文化と歴史



付録1

審査員は以下のメンバーで構成されています:

Laura Haddad は、自身のアート、演劇、風景に関する経験を組み合わせて、空間的かつ彫刻的な作品を制作しており、審美的、機能的、生態学的、詩的に機能するハイブリッドな風景に関心を持っています。公園特有の芸術作品を都市インフラに統合することに焦点を当てる彼女の作品は、公園の現象、有用性、歴史、状況から概念的な意味を導き出します。彼女は、2016年~2020年まで、シアトル設計委員会 (Seattle Design Commission) およびSeattle公共芸術諮問委員会 (Seattle Public Art Advisory Committee) の委員を務めました。彼女の作品は、芸術のアメリカ人 (Americans for the Arts)、Seattle設計委員会 (Seattle Design Commission)、Seattle芸術委員会 (Seattle Arts Commission)、アメリカ造園家協会ワシ (Washington Chapter of the American Society of Landscape Architects, WASLA) ントン支部から賞を受賞しています。Lauraの設計した作品と記述は、Sculpture、Architectural Record、Landscape Architecture、Land Forum、Landscape Journal、およびArcadeに掲載されています。LauraはUniversity of California, Berkeleyで造園学の修士号を取得し、Bowdoin Collegeで歴史学の学士号を取得しています。

Jecelle Majorは、持続可能性 (B.S) とランドスケープ・アーキテクチャ (MLA) の学位を取得後、Seattleに移りました。彼女は、学際的設計および計画会社で、さまざまな規模のプロジェクトを実践してきました。彼女は現在、Sawhorse Revolutionの取締役会および公有地信託 (Trust for Public Land) の次世代評議会 (Next Gen Council) の運営委員会委員であり、Seattle公共芸術諮問委員会であるShape Our Water設計チームのメンバーでもあります。Jecelleは、自身の学生、ボランティア、クライアントと仕事をしていないときは、大学講師や客員評論家をしていることが多いです。2020年には、新たな社会正義とパンデミックに対応した経済変化に対応するべく、自身でコンサルタント会社を立ち上げました。彼女の実践と研究、情熱の対象は、公平性、環境保護、市民参加への戦略、教育まで多岐にわたります。彼女は、これらすべてを公共の領域と現在の環境において、どう相互作用させられるかについて考えています。

Aaron McCannaは、Burke博物館で多様性、公正、アクセス、包摂、脱植民地化をコーディネートしています。コピックの父とメキシコ人の母のもと、Washington州Kingstonで生まれ育った彼は、芸術、哲学、脱植民地化と正義、食べ物など、多くのことから深く影響を受けています。紆余曲折を経て、彼はニューメキシコ大学で動物考古学と同位体分析を学び、修士号を取得しました。Burke博物館での彼の役割は、脱植民地化関連のプログラム、訓練、ガイダンスをスタッフに提供し、博物館のあるべき姿を再考することであり、これが彼の生きがいです。自ら世界をより良い場所にするために働くことで得られる喜びとインスピレーションは、彼のモチベーションとなっており、脱植民地化により、個人やコミュニティに喜びと癒しを広めたいと考えています。

Agnes Navarro は、医学博士であり、Seattleのフィリピン人コミュニティの現・事務局長です。彼女は、Seattleのフィリピン人コミュニティの元理事および文化芸術プログラムのディレクターです (2008~2018)。Agnesは、Washington FCHSW/Pagdiriwangのフィリピン文化遺産協会「Seattleセンター・フェスタル・イベント」のボランティアです。彼女は、退職するまでUW Medical Center/Harborview Medicalで31年間勤務しました。

Ruri Yampolsky は、Seattle市のOffice of the Waterfront and Civic ProjectsのWaterfrontプログラム・アーツ・マネージャーであり、芸術と文化を統合し、これをSeattle最大の市民変革の1つとするよう取り組んでいます。彼女はまた、Waterfrontの文化的解釈による道案内プログラムの管理にも携わっています。彼女はSeattleの公共芸術プログラムおよび芸術プロジェクトを管理してきた長年の経験があり、都市空間を形成し、コミュニティに関わり、市民の対話を促進し、分野における新しい声を世界にもたらすさまざまな芸術を表現する多くのプロジェクトを提供することで、人々の経験蓄積を支援しています。芸術を愛するアメリカ人のための公共芸術ネットワーク評議会 (Public Art Network Council) のメンバーを6年間勤めており、公共芸術の実践、方針、および手順における多様性、公平、および包摂を重視してきました。彼女は、公共芸術の管理者と実践者の非公式ネットワークである公共芸術交流 (Public Art Exchange) の創設メンバーでもあります。Ruriは訓練を受けた建築家です。

付録2

Washington大学の研究論文

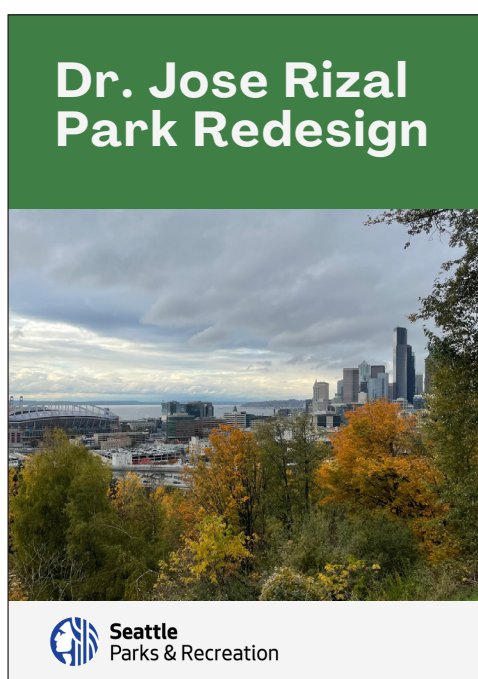


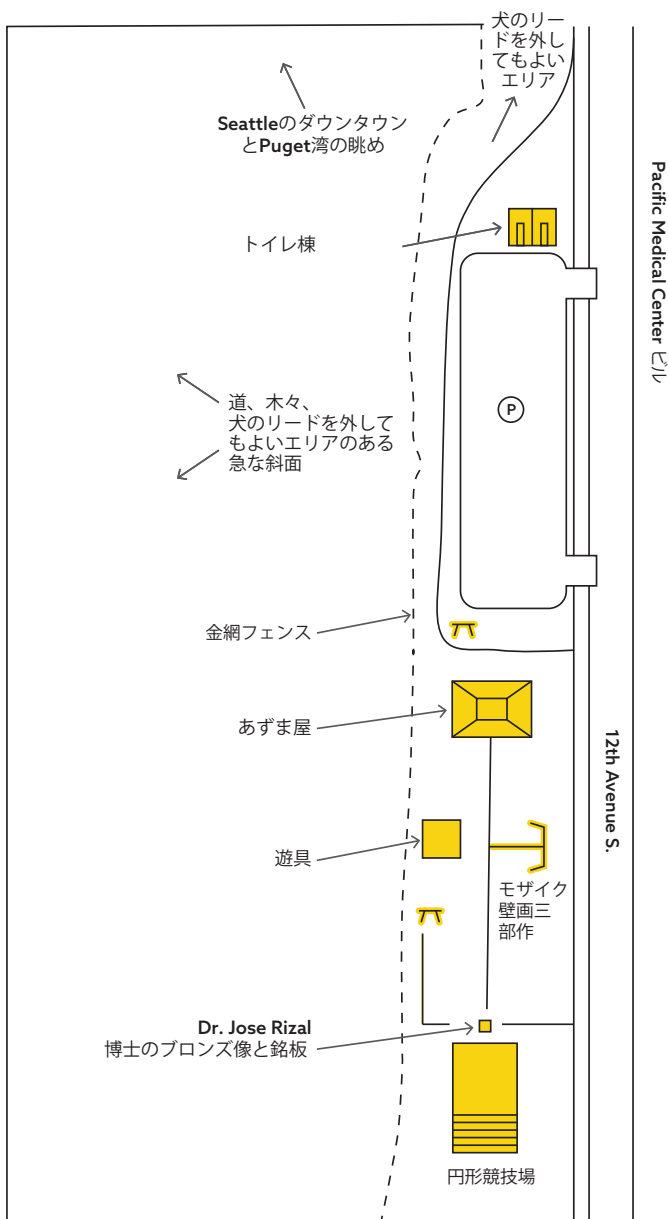
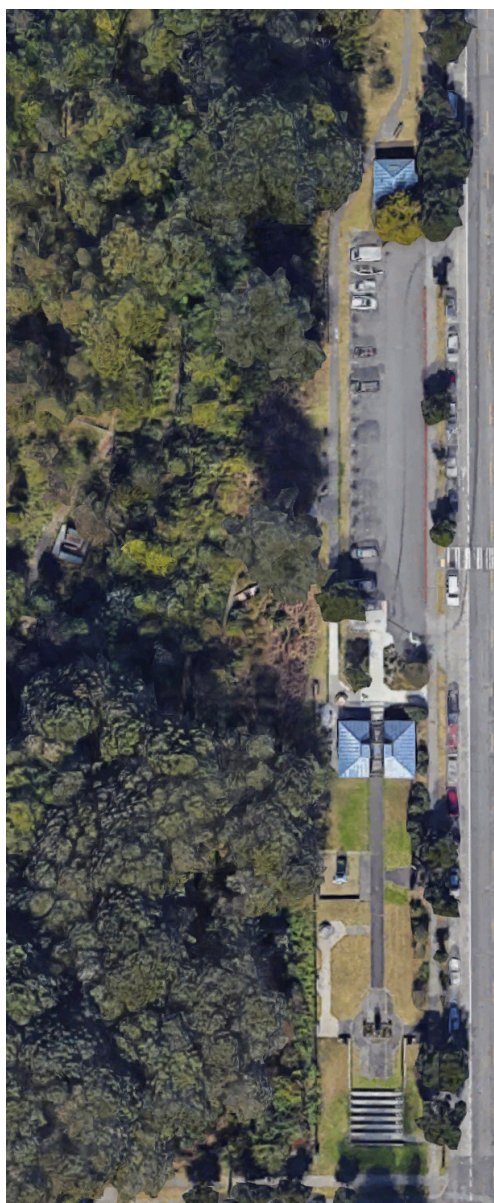
Table of Contents	
1	Background
3-4	Park History
5	Who is Dr. Jose Rizal?
6	Demographics
7-8	Neighborhood Context
9-10	Site Context
11-12	Workspace

SEATTLE PARKS & RECREATION Dr. Jose Rizal Park Redesign

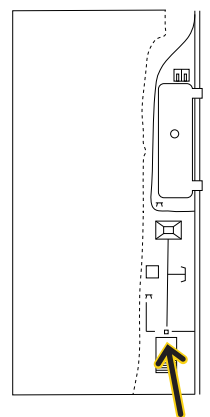
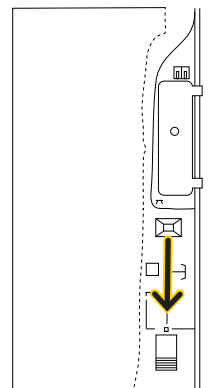
すべての書類をご覧になりたい場合は、
<http://seattle.gov/parks/elevate-rizalpark/>にアクセスしてください

付録3

現場の写真および公園計画



Jose Rizal博士のブロンズ胸像と銘板



Jose Rizal博士のブロンズ胸像と銘板

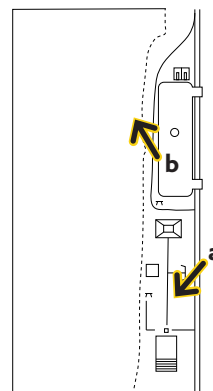


a

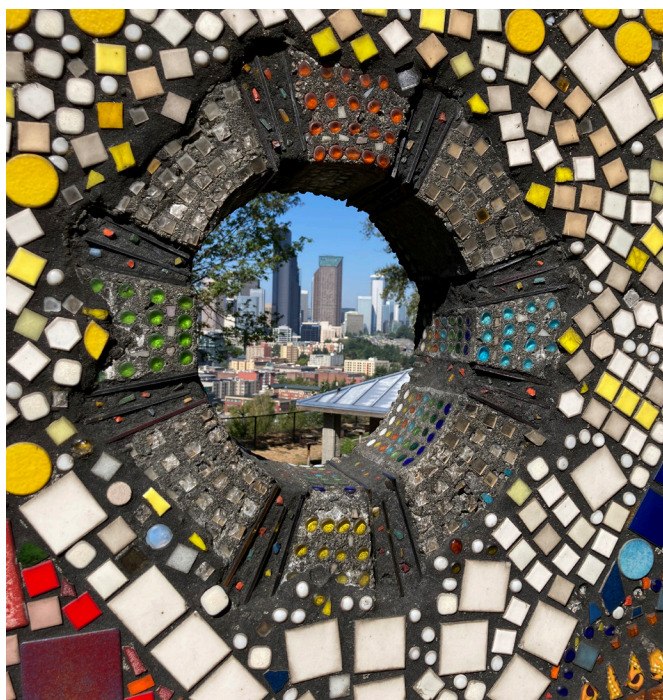
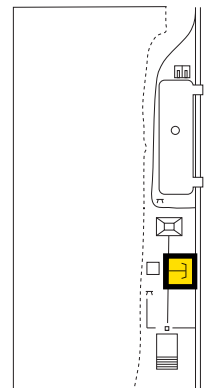
SeattleダウンタウンとPuget湾の眺め



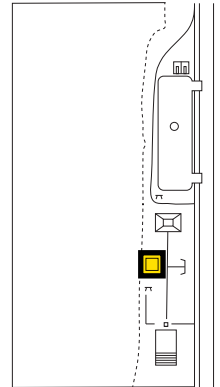
b



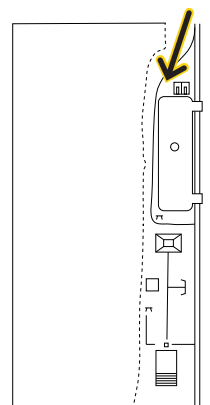
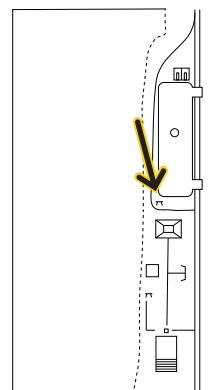
モザイク壁画三部作



あずま屋



道、木々のある斜面



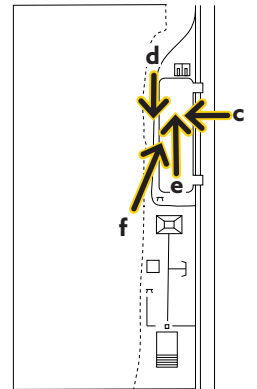
駐車場およびトイレ棟



c



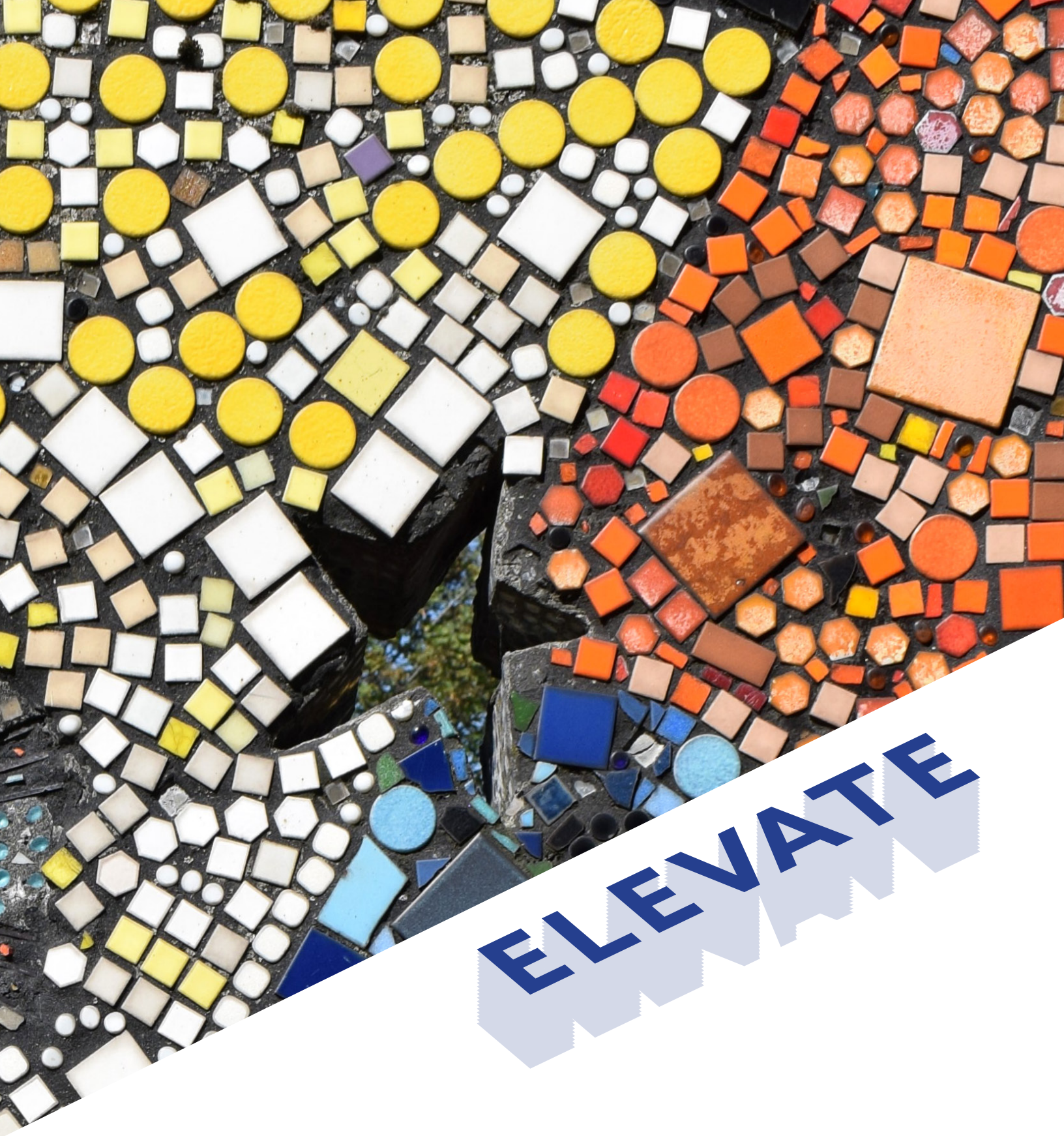
d



e



f



ELEVATE